

■ 前回の例会記録

第3391回 2023年8月1日(火)

【新会員卓話】

株式会社テヅカ

代表取締役社長 手塚 奈津子 会員

朝日生命保険相互会社

宮崎支社長 水井 孝昭 会員

* 誕生日祝・結婚記念日祝(親睦委員会)

出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	97名
例会出席会員数	69名
同上出席率	71.88%

■ 今回の例会予定

第3392回 2023年8月8日(火)

【会員増強月間】

会員増強委員長 吉田 博俊 委員長

【新会員卓話】

第一生命保険株式会社

宮崎支社長 須藤 裕之 会員

■ 次回の例会予定

第3393回 2023年8月22日(火)

【ゲスト卓話】

株式会社馬原造園建設

代表取締役 小川 次郎 様

「アミノバイタルトレーニングセンター宮崎と

これからのスポーツランドみやざき」

■ 幹事報告

- 本日の配布物
・週報No.4 ・ガバナ月信 ・ロータリーの友
- 本日 第105回全国高校野球選手権記念大会出場に伴う募金協力のお礼があります。
- 今週予定の池ノ上ガバナー奄美公式訪問は11月14日~16日に変更となります。
- 7/23地区の公共イメージ向上セミナーが開催されました。
- 本日はスタッフ会議が行われます。
- 8/2宮崎県中部グループ会長幹事会が開催されます。
- 8/5地区の会員増強セミナーが都城で開催されます。
- 8/62730地区RLIが開催されます。
- 8/8来週の例会は長嶺ガバナー補佐が訪問されます。
- 宮崎学園への皆様から頂いた募金は94500円。インターアクトの中村委員長が宮崎学園に例会終了後届けられました。皆様のご協力ありがとうございました

■ 宮崎学園 押方校長より



「野球部甲子園初出場のご報告と支援のお願い」

宮崎学園 押方 修 校長

■ ビジター会員



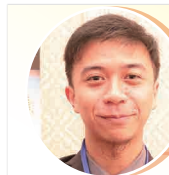
名誉会員
宮崎RC第47代パスト会長

定永 正明 会員



宮崎南ロータリークラブ
松下 美佐子 会員

■ 米山奨学生



ワルダナ・バユ・クスマ 君



Happy Box

吉田 晋弥 会員

7月16日に宮崎カントリークラブで開催された第1回会長杯ゴルフコンペで、宮崎ロータリークラブ入会7年目にして初参加で優勝してしまいました。自分でも驚いています。

同じ組の安藤公一さん、金丸由宇さんと楽しく回ることができ、お二人に引っ張られていいスコアができました。本当に有難うございました。

また、久しぶりにゴルフができたことに感謝し、Happyさせていただけます。

■ 会長の時間



姉妹、友好クラブについて(一部)

岡本 俊則 会長

皆様こんにちは本日は姉妹クラブ、友好クラブについてのお話をさせて頂こうと思います。宮崎ロータリークラブの姉妹クラブは皆様ご存じの国際ロータリー第2800地区山形ロータリークラブですが、実はもう一つ姉妹クラブがあります。国際ロータリー第3660地区、お隣の国 韓国 の釜山ロータリークラブです。私が入会し2003年当時は、

釜山との交流はまだ盛んでしたが、最近では諸事情による環境の不一致等からだいぶ疎遠になってしまっています。

友好クラブには、国際ロータリー第2650地区、奈良ロータリークラブがあります。奈良ロータリークラブとの馴れ初めは山田剛会員が奈良勤務時代に同クラブに在籍をされており、宮崎ツアーを企画され会合やゴルフをご一緒させて頂くところから始まりました。コロナ前までほぼ毎年行き来を重ね交流を深めて参っております。姉妹クラブの山形のような大々的な交流ではなく有志による対応という感じの比較的小じまりとした交流を続けています。と言いながらも、奈良訪問の際には超特別待遇にて歓待を受けています。“東大寺のお水取り”の参加や(春の訪れを告げる行事として知られる。期間中、19時の大鐘を合図に「お松明」に点火。夜半遅くまで、世界平和と人々の幸せを祈る行が行われる)法隆寺や薬師寺などの有名寺院での一般には公開されていない部分の排覧など特別扱いが好きな我々には答えられないものがあります。また、奈良ロータリークラブの例会会場となっている奈良ホテルは創業100余年の歴史と伝統を誇る木造のホテルで、なんと!あのアインシュタインが弾いたピアノが飾ってあります。同じフロアには隅々まで整えられた和の庭園を眺めながらの“BARラウンジ”があります。このホテルに宿泊しこの“BAR”でスコッチを呑むのが私の夢であります。

先週の木曜日7月27日に奈良ロータリークラブの通常例会に園田幹事と共に参加をして参りました。目的は昨年11月に開催した我がクラブの創立70周年に参加頂いたお礼と、今年10月に開催する地区大会への参加に関するお願いでした。ほどよい緊張感の中、点鐘により開始された例会は、歴史と伝統を重んじる張り詰めた空気の中で厳かに行事が進んで参りました。我がクラブとは全くと言って良いほど違う設え(配席や進行等)に少し戸惑いながらも“大安寺貫主”である河野良文会長の素晴らしいご挨拶を聴きロータリアンとしての共通の意識を育んで参ったところでもあります。奈良ロータリークラブは来年度ガバナーを輩出(弁護士の中本勝さん、来宮歴あり)されることで現行の会員数約130名~150名に増強予定との事でした。これからも同様の距離感を保ちつつ良い関係でありたいと願っています。

最後に、今回の訪問で一番驚いたのは先程お話しをしたすてきな“BAR”でクラブの理事会が行われていたことです。(笑)

本日は、奄美への公式訪問例会参加が台風のため中止となり、池ノ上ガバナーが本例会にご出席されております。そこで急遽、私の卓話は一部、二部分けて続きは来週お話をさせて頂くこととし、池ノ上ガバナーのお話を頂戴致したいと存じます。池ノ上ガバナーどうぞ宜しくお願い致します。



■ 池ノ上ガバナーの時間



国際ロータリー 第2730地区

池ノ上 克 ガバナー

皆さん、こんにちは岡本会長の時間を頂きまして、ちょっとだけお話をさせて頂きます。奄美大島に本当は今いるはずでしたが、飛行機が全部欠航になりましたので急遽こちらに参加をさせて頂きました。

ガバナーがなぜ公式訪問をするかというのは、今年の世界ロータリー会長のゴードン・マッキナリーさんのテーマ「Create Hope in the World」これをいかにお伝えするか、このマッキナリー会長の心を各クラブの皆さん方にお伝えをする、というのがガバナーの役割であります。そのために各クラブを訪問するのですが、68カ所、鹿児島県と宮崎県でありますので、佐藤幹事、それから10名の副幹事の皆さん方が入れ替り立ち替わり同行頂きまして、ドライバーになったり必要な道具を持って行ったり、一緒に動いて頂いております。そのために大変私は楽をさせて頂いておまして、車の中で寝ながら目的地まで着くという、そういうことであります。

訪問のときは、まず行きまして、例会の前に30分程会長さん、会長エレクト、そして幹事の方々と懇談をします。その時にそのクラブのいい事、悪い事、いろいろお聞きし、お話しいたします。その後の例会でガバナーアドレスを約20分間お話をします。その時にこのゴードン・マッキナリーさんのお話を、世界のロータリーはこんなことを皆さん方をお願いしたいんです、ということを行います。その後、フォーラムがありまして、各クラブ2人くらいの方が、そのクラブがどんな奉仕活動をしているのか、我がクラブのいいところ、悪いところ、強いところ、弱いところをお話して頂き、その後、お互いにディスカッションをしながらフォーラム

を終わる、というのが一連の流れであります。

今まで68クラブの中の13クラブが終わりました。例会の前の懇談と後のフォーラムのところでは同行していただいた副幹事の皆さん方にもディスカッションに入っていたら、各クラブからいろいろお話を聞いたことに対して、皆さん方がそれぞれ自分の意見を言ってもらったり、質問をしたり、そういったことで参加をさせて頂いている、という状況であります。一緒に行った若い方にいろいろお話を聞くと、宮崎ロータリークラブの良いところ、悪いところがたくさんありますけれども、いろんなクラブに行きますと、クラブ会員数9、10人前後のところもたくさんあります。そういったところでも皆さんはロータリーの基本的な価値観、考え方というのをしっかり持ちながら、地域にしっかり根付いた社会奉仕活動、職業奉仕活動をやっておられる。ご本人たちはあまり気づいておられないんですけどもその素晴らしさを我々がお聞きすると、それってすごいことですよ。そんなことやってるんですか。それってロータリーの認知度を上げますよね。ロータリーの公共イメージアップにつながりますよね。というお話をしながら質疑応答をさせて頂いて終わるというパターンであります。あと7月が終わっただけで11月まで引張ってまいりますけれども、皆様方のご支援を頂いて、このガバナー公式訪問最後まで頑張りたいと思います。今日のご時間を頂きまして、ありがとうございました。

■ 新会員卓話



株式会社テヅカ 代表取締役社長

手塚 奈津子 会員

みなさま、お疲れ様です。ロータリークラブに入会して6か月もたつてしまいました。まず自己紹介いたします。仕事では手塚奈津子ですが、戸籍上は山田です。

私は1973年3月宮崎に生まれ、本籍は橘通りで子供のころから店や町の活気あふれる雰囲気が好きでした。小学1年の時に、倉庫と事務所のある家に引っ越して、社員や取引先と毎日挨拶するようになり、祖母に小切手の仕組みやお札の数え方を教わり、家業がある環境で楽しかったです。また、今の会長が出張に行くたびに、宮崎で見ないお菓子をいつも買ってくるので、社長っておもしろそう!と思いました。母は専業主婦で、その母型の祖母、は大正時代に東京の、今でいう女子大に進学するくらい独立心や克己心のある人だったようで、その影響を受けました。

大宮高校、そして慶応義塾大に入学。しかし大学1年時に、生まれて初めての挫折を味わいました。驚くほど頭のいい同級生に囲まれ、法律学科の専門書は日本語なのに頭に入ってこない、第二外国語のフランス語はちんぷんかんぷんすぎて逃げ出したかったです。その後一度就職しましたが、再度仏文科へ学士入学し、2年さらに親のすねをかじったため、一生、お前はすねをかじって遊ばせてやると、両親から嫌味を言われる身になってしまいました。2年間は精一杯学

び、フランス語学の研修で2度訪仏。ルームメイトのオランダ人18歳が英仏独語ペラペラで世界の広さを知りました。フランスではパリとニースに行きましたが、ニースの方が食べ物も美味しく、見るところもうあって本当に楽しいところでした。皆様にも、ニース旅行はお勧めします。

大学卒業後は、ベンチャーか外資でと、株式会社NOVAで営業とスクールマネジメントで楽しく仕事をしていたのですが、29歳の時に実家に戻ることになりました。家業に入ってから今までのことは、あんまり覚えていません。戻って3年目で結婚し、5年目で出産し、その後は子育てをしながらやれることだけに集中してとにかくバタバタしていました。ただ、わたしが社内育休第一号だったこともあり、その後は女性スタッフも定着しているかな、と思います。

さて、次は私の大好きな靴の話をしていきたいと思います。靴の歴史ですが、エジプトの古代王朝時代のサンダルが起源で、皮革での作成が紀元前13世紀、現存の靴メーカーで世界最古は1596年創業の独逸エドワードマイヤーです。皆さんがご存じの世界の靴メーカーの多くは18から19世紀に造られています。日本で最初に靴を履いたのは、坂本龍馬で1860年ごろサイドゴアブーツだったようです。日本最古の靴メーカーは1872年創業の大塚製靴です。続いてロータリーの皆様からよくお問い合わせいただき「リガ」ブランドについてですが、1880年米L.C.プリズアンドカンパニーというマサチューセッツ州の会社で生まれ、1961年日本上陸、このころからの木型が今も保管されているそうです。今は日本国内に新潟と岩手に自社工場があり、最近ではメイドインジャパンは希少性が上がっており、また、いまだにグッドイヤーウェルト、セミマッケイなどの、ミシン縫いの商品を作っていて、写真の通り手作業のため生産量は本当に少ないです。また、原材料である原皮は、主にヨーロッパ産で、これも希少性が上がってきました。国産やヨーロッパ産の革靴でお気に入りの商品があれば、早めに手に入れることをお勧めします。履き心地については、足のサイズですが、図れる状況であれば図ってもらったほうが良いと思います。また日本の靴と欧米の靴では、サイズ表示に大きな違いがあるため、必ずお買い上げの前に、試し履きをしっかりとすることを強くお勧めします。

靴選びの時に気を付けることとしては、試し履きするとき、主に使用する時間に、その靴と履くであろう厚さの靴下やストッキングを着用してお試しください。靴の底材が柔らかすぎものは、膝や腰に負担をかけます。特にスニーカーは捻られるほど柔らかい底材のものはお避けください。どうぞ靴でお困りのことがあれば、いつでもお越しく下さい。

それでは卓話を終了いたします。ありがとうございました。

1

ロータリー卓話 私と靴と靴屋

2

橘通り



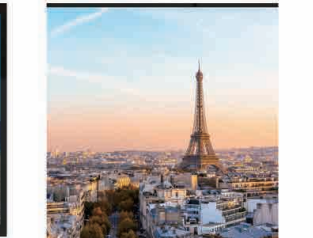
3

大宮高校時代



4

フランス滞在



5

リーガルコーポレーション

1880年
アメリカ合衆国、マサチューセッツ州フィットマンでL.C.プリズアンドカンパニーが設立され「REGAL」ブランドが誕生しました。設立者であるL.C.プリズの考えは、履き長くしかも丈夫な靴をつくること。毎日試作を行い、出来るだけ良い靴をつくること。その後、数年も経たないうちに100店を数えるまでに発展しました。

1893年
世界最初の「リーガル・シュー・ショップ」がボストンにオープン。この店の看板には、フー・マークがシンボルとして初めて使われました。その後、数年も経たないうちに100店を数えるまでに発展しました。

1902年
「L.C.プリズ&カンパニー」は「リーガル・シュー・カンパニー」に改称。1907年には、リーガル・フレンチ・ライディング・シューズは1000名に到達するほど輸出に広がりました。

1954年
老舗シューメーカー「プララン」社と合併し、以後もより大きく発展していくのです。



6

1961年日本上陸



「日本製(リーガルコーポレーション)」が「プララン」社と技術提携したことで、「REGAL」ブランドは日本デビューを飾ったのです。

当時のアイビーブームの中、「VANジャケット」とのジョイントにより爆発的な人気を得たことでアメリカントラッドの靴というイメージが定着しました。

1990年には日本製がリーガルの商標権を取得

